

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	平成28年度 第4回高松市在宅医療連携会議
開 催 日 時	平成28年11月30日(水) 19:00～20:30
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 在宅ケア便利帳部会の報告と最終確認について ①概要版・詳細版最終レイアウト ②CD-R最終レイアウト ③冊子・CD-R配布数 ④監修・協力リスト(案) ⑤事務費(案) 2 退院支援・医療介護連携部会の報告と「第2回退院調整・地域連携打ち合わせ会」の実施について 3 平成28年度在宅医療コーディネーター養成研修会の実施について 4 多職種連携研修会の概要報告と参加者の推薦依頼について 5 在宅医療と介護に関する市民公開講座の概要報告と動員依頼について 6 その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	16人 吉澤委員長、大原職務代理、青木委員、安藤委員、大橋委員、長内委員 片山委員、木村委員、多田委員、田中委員、辻委員、永岡委員、坂東委員、 古川委員、松本委員、三宅委員
関係者	市医師会事務局(3人)、在宅ケア便利帳作成委託業者(3人) その他: 医師会(伊藤副会長)、歯科医師会(森井常務理事)、県随員(1人)
傍聴者	0人
担当課及び連絡先	長寿福祉課 地域包括ケア推進室 839-2345 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811 保健対策課 地域医療対策室 839-3805

### 協議経過及び協議結果

#### 1 在宅ケア便利帳部会の報告と最終確認について(資料1、1-1)

(事務局) 参考資料を御覧ください。国が出している地域包括ケアシステムの絵ですが、この「自助」の記載部分を参考にしてみてもいいと思います。

(A委員) 「自らの収入」を「自らの力」に変更しましょう。

(A委員) では続いて、8ページの在宅医療を支えるサービスについて何かございますか。「訪問リハビリ」と記載していたのですが、訪問看護ステーションから行く場合、

表現が異なるという御指摘があり、訂正していただきました。

(B 委員) 訪問リハビリの定義を調べたところ、訪問看護ステーションからの理学療法・作業療法・・・という表現が好ましいとの記載があったために、あえてこの文言を入れるようになりました。

(A 委員) C 委員はどう思いますか？

(C 委員) 理学療法士の立場からすると非常にありがたい表現なのですが、やはり訪問看護ステーションありきの訪問リハビリなので、大々的に表に出さなくても良いかもしれません。

(A 委員) それでは、「訪問看護」と「訪問理学療法・作業療法・言語聴覚療法」という表現に統一させていただきます。

(D 委員) 9 ページの心電図の絵について、病院にあるモニターだと思うのですが、在宅では心電図はあまり使わないので入れない方が良いかと。

(A 委員) 確かにこれではモニターの絵になりますね。心電図検査はしますけど、モニターを使用しているところは多くはありません。

(事務局) 例えば、採血している場面にしてはどうでしょうか？

(委託業者) スペース的に難しいかと。

(委員長) ではシリンジ、注射器、聴診器などにしてみては？

(委託業者) 検討してみます。

(A 委員) 次、4-3 介護サービスについて。

(E 委員) 16 ページの《自宅を訪問してもらう》というカテゴリの中に、訪問看護と訪問リハビリが抜けているのは何か理由があるのですか。この中にないと、介護サービスで訪問看護と訪問リハビリが受けられないのかと勘違いしそうです。

(A 委員) 記事が重なりますが、載せた方がいいということですね。

(事務局) 訪問看護と訪問リハビリについては、12 ページと13 ページに特出ししているので、このカテゴリから外れたという経緯がありますが、自宅を訪問してくれるというのを見た時にないと違和感がありますね。

(E 委員) 高松市の資料には全て掲載しているのに、これだけ載っていないとなると・・・

(事務局) では、再掲にはなりますが、《自宅を訪問してもらう》というカテゴリにも訪問看護を掲載し、ページ数を入れて詳細は前のページを見てもらうという方がいいですね。

(E 委員) そちらの方がいいかと思います。

(F 委員) 21 ページの★専門職による相談、指導、助言の部分に薬剤師のイラストが登場していますが、リハ職のイラストに変更していただければと思います。

(委託業者) 分かりました。

(A 委員) 次に、6 在宅医療コーディネーターについて。

(D 委員) 26 ページですが、名簿が混乱しているかと。

(A 委員) 住所で分けますか、職種で分けますか。これを使う方は一般の人よりも相談を受けることが多いので、住所よりも職種の方がいいかもしれませんね。

(D 委員) 職種が多い順に並べた方が見た感じは綺麗かもしれませんね。

(委員長) 複数職種をお持ちの人はたまたまいなかったのですか。

- (B 委員) ケアマネですが、看護師と書いている人もいます。
- (事務局) 職種については、本人がアンケートに記載いただいた通りに掲載しており、職種の記載が複数ある場合も、本人が記載した順番で掲載しています。
- (G 委員) 今気づいたのですが、本人にダイレクトに繋がる内線番号を入れていただいた方が良いのではないのでしょうか。
- (事務局) 電話番号は、本人に確認をして、この番号でということに掲載しています。
- (委員長) 住所にしますか。職種にしますか。
- (A 委員) では住所で。
- (委員長) それから、職種の書き方は統一してください。ソーシャルワーカーだったり、医療ソーシャルワーカーだったり、色々な名称で掲載されていますので。
- (事務局) 分かりました。では、医療ソーシャルワーカーに統一します。
- (A 委員) 次に7 権利擁護関係相談について。
- (E 委員) 27 ページですが、成年後見制度は家庭裁判所に申請をするので、相談窓口の中に家庭裁判所を入れてはどうでしょうか。
- (A 委員) 家庭裁判所でも後見人の相談ができるということですね。
- (事務局) そうですね。ではこのお問い合わせ先の1 つに。
- (H 委員) 16 ページ、ケアマネジャーが介護保険制度の中に簡単に書かれているので、もしよろしければ、もう少し詳しく書いていただければと思うのですが。
- (A 委員) 訪問看護などのように、ケアマネジャーの説明を充実させるということですか。
- (H 委員) 理想ですが・・・
- (A 委員) レイアウト上、余白ができるところがあるので、もしよろしければそこで H 委員にコラムとして書いていただければどうでしょうか。
- (H 委員) 分かりました。ありがとうございます。
- (委員長) それでしたら、15 ページに書いている内容と違う事を書いてください。
- (A 委員) 15 ページに記載してある役割をもう少し詳しく書いてもいいかもしれません。次は、詳細版の方の訪問リハビリについて。
- (H 委員) 11 ページ、訪問リハビリテーションの部分ですが、訪問看護と訪問リハの掲載の順番を逆にした方が良いのではないのでしょうか。あと、通所リハにも理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等もいるので、バランスがどうかと思いました。訪問リハのボリュームが多いので少しボリュームを減らしてはどうでしょうか。
- (A 委員) C 委員どうですか？
- (C 委員) 順序に関しましては、訪問看護がないと訪問リハに行くことができないので、訪問看護が先の方が良いと思います。ボリュームですが、このくらいアピールさせていただければ嬉しいのですが。
- (E 委員) 順番なのですが、病院・診療所、歯科診療所がきて、薬局がきて、訪問看護がきて、訪問リハがくるという順番が良いと思うのですが。
- (A 委員) ではそういう順番に訂正します。
- (事務局) 確認します。まず、病院・診療所がきて、歯科、薬局、訪問看護、訪問リハビリ、介護となるのでよろしいでしょうか。
- (A 委員) はい。それで、大丈夫です。では、次、その他。

- (H 委員) この情報をいつ集めたかと、掲載されていない事業所がありますので、今後情報の更新をどうするかをどこかに記載していただければ嬉しいです。
- (A 委員) 何月何日現在というのは入るようになっていきます。
- (事務局) 詳細版のそれぞれのタイトルの部分にカテゴリー毎に日付が入ります。
- (A 委員) 基本的には、アンケート調査をした時点での情報を載せるということにしました。今後は、改訂版を出す時の話になると思います。
- (委員長) 何年か後になるということですね。
- (A 委員) 先ほど少しお話しをしたのですが、空白ページができますので、そこを埋めようということで、1つはH委員のおっしゃったケアマネについて、それ以外にもいくつかページがあるのですが、それをどうするか。私はQ&Aも良いかと思ったのですが、何かご意見ありますか。
- (委託業者) 今現状といたしまして、6ページほど空きがございます。地図の部分と項目の最後のページが空いており、情報を有効的に使えますので、ここを広告やQ&Aなど、何か入れたい記事がありましたらおっしゃっていただければと思います。
- (A 委員) 市長の話を入れては。
- (事務局) 市長の話は巻頭にあいさつ文として入れています。
- (D 委員) 総合事業のことや認知症カフェとか。地域で活躍している団体等をいくつか紹介してはどうでしょうか。
- (委員長) 病院・診療所の個別ページの一番後ろに1ページ半くらい。歯科の後ろに半ページくらい。薬局の後ろには1ページと4分の1くらい。訪問看護に1ページと半分くらい。それぞれの職種でページを埋めるようになると思います。訪問リハビリと介護機関はぴったりです。地図の方も、病院・診療所のところに1ページ、歯科1ページ、薬局1ページ、インフォーマルに半ページ等ありますので、ここを埋めるようになります。
- (A 委員) 専門職のページは、コラムとかQ&Aを載せれば良いと思います。
- (委託業者) 最終のページには御協力いただいた機関名を記載いたしますので、そこは大丈夫です。
- (A 委員) 最終的な空白のページが分かれば、その職種の人に依頼すればいいですね。
- (G 委員) 認知症カフェのような、医療や介護に関わる案内のような記事を入れていただければと思うのですが、いかがでしょうか。
- (A 委員) 医療は、がん患者家族会が今年一つになりましたので、この内容で代表に書いてもらうことは可能かと思います。
- (委員長) コラムを書くのであれば、目次にコラムばかりをまとめた目次をつけないと、地図と地図の間だとせっかく掲載しても見ない可能性があると思います。
- (事務局) 今日のご意見を基に修正すると、空白部分のページ数も変わる可能性もありますので、確定した段階で、それぞれの職種ごとにコラムを依頼させていただきたいと思います。目次にもコラムのタイトルをまとめて載せるということによろしいでしょうか。
- (委託業者) 便利帳に関しまして、校了を12月9日にしておりましたが、修正とコラムの作成を考えますと、かなり厳しいかと思います。本来は11月いっぱい予定だっ

たので、これ以上引き延ばすと印刷に影響がでてきます。

(委員長) 要するに印刷が遅れると、納期が間に合わないということですね。

(委託業者) 1月の後半には必要だと聞いておりますので、それに間に合わせるためには、次の週から印刷に入らないと間に合わないということになります。

(事務局) 実際のお披露目は2月19日なのですが、その前に市長定例記者会見がありまして、2月の上旬を予定しております。

(A委員) 詳細版も概要版も同時に印刷するのですか。

(委託業者) そうですね。まとめて印刷することになります。CDだけは別なのですが。

(委員長) 看護、歯科、薬局に1ページずつ、薬局の地図の後ろにケアマネ、病院の地図の後ろに患者会、個別施設のところに認知症、これで決定したいと思います。

(事務局) まとめたものはメールかFAXで事務局まで送ってください。認知症カフェは高松にないので、今回は新しい総合事業の記事を載せましょうか。

(A委員) そうですね。お願い致します。

(事務局) メ切ですが、6日火曜日は厳しいでしょうか。

(A委員) 頑張ります。

(事務局) 詳細版の方が292ページ、概要版の方が32ページということで作成していきます。

## 2 退院支援・医療介護連携部会の報告と「第2回退院調整・地域連携打ち合わせ会」の実施について(資料2、2-1)

○E委員より、退院支援・医療介護連携部会の報告がある。

→質問等なし

## 3 平成28年度在宅医療コーディネーター養成研修会の実施について(資料3)

○G委員より、資料3の説明がある。

→質問等なし

## 4 多職種連携研修会の概要報告と参加者の推薦依頼について(資料4)

○D委員より資料4の説明がある。

→質問等なし

## 5 在宅医療と介護に関する市民公開講座の概要報告と動員依頼について(資料5)

○事務局より資料5の説明がある。

→質問等なし

## 6 その他

(F委員) 香川県薬剤会からですが、12月18日に香川県薬剤師会で研修会がございます。地域医療連携室をお持ちの病院の病院長宛て、各包括支援センターにも案内をお送りしております。担当の方に是非参加下さいということで案内をしておりますので、この場をかりて申し訳ございませんが、ご協力お願い致します。

**【次回の日程】**

平成28年度第5回高松市在宅医療連携会議を、平成29年1月25日（水）19:00～  
高松市医師会館にて開催することとなる。